京城日報
朝刊　夕刊　共十二頁

基本國策具體化へ 内閣强力なる前進

政治指導力の發揮期待

……近衞内閣は基本國策の全面的具體化に……面日華國交調整の締結によつて全く新……事態の處理を緊迫せる國際情勢に備固たる……の確立に則つて更に一段の政治指導力を……

狙ひは選擧法改正

首相、外相要談

【東京電話】近衞首相は本多新中華大使歡送午餐會後、首相官邸に松岡外相と會見、内閣改造の成果につき要談した

三氏一應留任か

【東京電話】挾間内務次官、阿部警視總監、藤原警保局長は廿一日辭表を提出したが、平沼新内相は内務行政の現狀に鑑み三氏に對し留任を懇望するものと見られるが、もし三氏が應じない場合は内務次官に萱場軍藏、山崎巖、坂兵庫縣知事の三氏、また警視總監には[illegible]

興亞院官制問題

關係閣僚會議で協議か

必要の點は改革

内相就任の平沼男語る

大いに勉强する

柳川新法相抱負を語る

「身體の方は如何です」

健康でない、丈夫だと答へたいが明けて六十三歳になる老骨のせいか弱くなつた、尤も僕は軍職時代も不健康であつた

「體の自信は」

こんな當にならんものはない、人間何時かは必ず死ぬものだ、兎角生きてゐる間に頑張るより外に道はない

「家族の方は」

有がたう、僕は家の者のことを人にいふのは好まぬ方ぢや……[illegible]……この柳川さんよ……[illegible]

國府修聘使一行新京入り
（中央徐良外交部長）＝電送

近衞内閣の補强

日獨伊三國同盟、日華基本條約を締結して新秩序推進方策の基幹を定め、大政翼贊會の組織的に運動方向を決定して愈よ事變處理の最終段階に突入せん體制を整へた近衞内閣は、廿一日突如安井内務、風見司法兩相の辭職を發表、後任内相として平沼國務相を、法相には柳川平助中將を起用した

△

この内閣補强がもつ時代的意義は大きい、即ち、わが國政治の現段階は臣道實踐を最高の目標として國際情勢に對處し、事變處理に邁進する大政翼贊運動の推進にあり、その本質は官民の完全なる一體、即ち政府と大政翼贊會の渾然一致した理想のもとに行はれる、近衞首相は實にこの本旨に鑑み、閣内補强工作として國策大綱の確立、内閣强化の方途として平沼男を最初の國務相として入閣せしめた、平沼男は夙に國本運動の指導者として右翼に隱然たる勢力をもつ日本主義陣營の巨頭である、満洲事變時

更に 一つの意義は大政翼贊會の表れである

制への移行を決定づけた五・一五事件以來平沼騏一郎の名は既に中央政界に頭角を露け、昭和十三年、時局の進展は遂に男に首相の印綬を帶びさせ、當時革新陣營の明星とされてゐた近衞首相との政治的關係は一層密接の度を加へた、新法相柳川將軍も國本社のメンバーとして平沼男と同一傾向の人であり、このことは内閣補强の本質を示唆してゐる

賛會といふ國民組織再編成の過程を通して結集される强力なる政治力の體系である、國民の强力なる實踐の源泉は强力なる政府の政策遂行にある、この見地から經濟新體制の確立と國民組織の再編成とゝもに政治の强化が要請されてゐた、政府の陣容の整備は近衞内閣の基本國策要綱中の「國防國家體制の確立」として明示されてをり、强力政策遂行の中心たる内閣の强化は既に不可缺の條件とされてゐた、曩に行はれた内閣制度の改革といひ、近衞首相の抱くこの信念の表れである

△

かくて政府は國策遂行力を最高度に發揮すべく一段の構へを整備することに成功した、然しながら内外の情勢は益々緊迫の度を加へ國民は内閣に乾坤一擲の國策强行を要望してゐる

顧つて施政の跡を省るに、日獨伊三國同盟を締結して帝國の行く手を明示する一方、日華基本條約を締結して事變處理の基底を定めるといふ大きな足跡を印した、この最高國策を推進する國内處理も着々進捗、去る八月一日決定した「基本國策要綱」に基き、既に國防經濟の根幹となるべき經濟新體制要綱、日滿支經濟建設要綱、國土計畫設定要綱等戰時具體策は着々樹立され、既に實行に着手せんとしてゐる

一方 近衞首相がこの實行を期して精魂を打込んでゐる臣道實踐、大政翼贊運動も去る十六日から三日間に亘つて開かれた中央協力會議で豫想以上の成績を收め、擧國一致の實は漸く具體的な形となつて現れ、一億同胞は擧つて政府の强力なる指導を待望しつゝあり、この時に臨んで行はれた内閣補强が國民に明るい印象を與へたことは嬉かだ

△　△

第七十六議會の開會を控へ、殊に選擧法の改正問題を繞つて衆政黨方面の動行は微妙なものが感ぜられ、來春休會明けの議會運行如何は必ずしも内閣の前途に樂觀を許さない、この點にも、平沼、柳川兩氏起用の意義がある、安井前内相は夙にこのことを感知、政黨なき七十六議會と選擧法改正のための總選擧に於ける影響力が漸……なる點を指摘して自ら進んで勇退を申出、風見前法相も亦、當初より野に在つて國家に御奉公することが自ら適任なることを首相に進言してゐたが、最近に於ける諸情勢の進展に鑑み近衞首相の決意を見るや率先辭意を表明した

その 結果近衞首相は木戸内府と内閣補强につき協議、日本主義陣營の總帥として官界その他に絶大なる睨みが利く平沼男の内相就任を懇請、一方、杭州灣上陸作戰に赫々たる武勳を樹て、歸還後、興亞院總務長官として一點の私心なきに敬服してゐる柳川將軍に法相就任を懇請したものである

司法檢察行政は内務行政と相關々係にあり、在來兩省の親交のある兩相の今後の强化されるべき翼賛運動の指導と選擧法改正を繞る議會における役割は期待すべきものがある

〝教育者たるの自覺〟

文相、全大學總長に訓令

【東京電話】橋田文相は先日の各大學總長會議の席上「大學教授は單なる學究であつてはならぬ、更に進んでよき教育者としての責任を果さねばならぬ」と學園の新體制を説いたが、廿一日官公私立全大學總長に對して左の如き訓令を發し、教育者としての責任を强調した

大學教授の、學生を教授しその研究を指導するに當りては國家に須要なる學術の蘊奧を考究するとゝもに常に國家思想の涵養及び人格の陶冶に努むべきものにして、大學教授が研究者たると同時に教育者たる責務を有するものなることは言を俟たざるところなり、抑々教學とは本來一に歸すべきものにして、これが分離對立は諸弊の源由をなすものと云ふべし、大學教授は須く國體の本義に則り、科學一體の精神に徹し、おさく教育たるの自覺を振起して學生を感化、薫導、學徳一體の修練を積ましめて負荷の大任に耐ふべき指導的人材の育成するにつとむべし

合同協議も空し

新法幣、重慶に脅威多大

【香港廿一日同盟】南京中央儲備銀行の創設は豫期されてゐたとはいへ蔣政權が財政、金融の行詰りに直面し打開の方途に迷つてゐた際であり、この與へる脅威は極めて大きいものがある、重慶側では十六日香港で英と合同の法幣安定資金委員會を開催、對策を協議し、その後も引續き、英、重慶關係者が會合を續け近く未決定事項は重慶に決議される模樣である、しかしながら重慶側が現在の環境において中央儲備銀行の新法幣價に對する有效なる對策を見出すことの困難なることは當地金融界の一致した觀測であり、英、重慶財界が對策を練つた結果も確定な結論に達しなかつた模樣である

全共産軍に對し移駐命令

國共關係の爆發必至

【香港廿一日同盟】重慶ロイター電によれば蔣政權における國共兩軍の關係は今や何等かの前後措置を講ぜざれば爆發必至の情勢に立至つたので、蔣政權はこれが解決策として國共兩軍間におけるこの上の摩擦を防止するため第十師團及び新四軍を包括する全共産軍に對し新地域への移駐命令を發するに決定した

元老派復活一頓挫

【香港廿一日同盟】元老派政客許崇智が突如重慶を去つて十九日香港に歸還し來つたことは蔣政權内部の複雜な事情を物語るものとして非常に注目を惹いてゐる、即ち許が蔣の要請を容れて重慶入りをしたのは香港、昆明その他に散在する各派主要人物の大同團結による抗戰陣容の建直しと元老派政客の重用を條件としてゐたものであるが、その後蔣は内部紛糾を恐れて政府の根本的改造も人事異動も擬り許の主張は實現の見込みなきに至り一方中國共産黨及び孫科は猛烈に保守派勢力の擡頭を妨害運動を起してをり許崇智は事志と違ひ身邊の不安すら感ぜられるに至り重慶を去つたもので、これがため居正、于右任等が企圖してゐた元老派の復活運動等も一頓挫を來した

米の輸出許可制ちかく更に擴大か

銅にも斷行されん

【ニューヨーク廿日同盟】アメリカ輸出統制官ラッセル・マックスウェル中佐は十九日夜ラヂオを通じ緊要物資の輸出許可制は近き將來更に擴大されるであらうと警告した

アメリカは十二月に入つて四日には工作機械の輸出許可制の適用範圍を擴大、十日には鋼鐵、鐵板、鐵合金、鐵鋼製品の輸出に十二月三十日より許可制を布く旨發表、なほ近く銅の輸出許可制を斷行すべしと傳へられてゐる抗枢との言明は注目される

新國防最高機關設置

【ワシントン廿日同盟】軍需生産擴充の隘路に悩みつゝ彪大國防計畫と對英武器援助を强行すべく、ルーズヴェルト大統領は現在の國防委員會の上に更に强力なる巨頭會議を組織する意向であると傳へられてゐたが、廿日大統領は新聞記者團との會見に引續き特別會見を行ひ、右巨頭會議はスチムソン陸軍長官、ノックス海軍長官、クノードセン軍需總先局生産調整官、シドニー・ヘルマン國防委員を以て構成する四首腦會議を決定した旨發表した、同會議は十日以内に大統領令によつて實現される豫定で國防計畫の企畫と實現に對し、緊急せる諸事情を解決すべく軍需工業の生産購入優先權等につき全權を附與された强力最高機關とする筈である、この

監査官制度設置

内務省地方局に

【東京電話】内務省では地方税制の改正に伴ひ地方團體の行政及び財政の適正圓滑なる運用を圖るべく今回内務省地方局の機構を改正し、新たに監査官制度を設けて地方別に監査官室を置くこととなつた、これは主として道、府、縣並に六大都市の行政、財政の監査を凡そ二年一回行はんとするもので、これに伴ひ從來の監査課を廢止、又地方分與税配分の適正を期するため税務課を新設したものである、なほ地方廳においても本省の機構改正に對應して總務部の機構を改組し時局の要求に應ぜしむることとなり各地方長官宛通牒を發することとなつた

獨空軍リヴァプール襲撃

【ロンドン廿日同盟】ドイツ空軍は十九日夜より二十日早曉にかけてリヴァプール軍港、マーシイ河地區に大擧襲來、多數の爆擊機は工場地帶に爆彈を浴びせ、それに對するイギリス軍の高射砲擊も夜通し行はれ[illegible]ため會議は殆ど多の智能において現在の國防委員會の上に立つものであるが國防委員會は今後も從來通り存續する

サモア群島に米空軍根據地

すでに工事に着手

【本ノルル廿日同盟】當地に傳へられた非公式情報によればアメリカ政府は南太平洋上にあるサモア群島最東端の米領ローズ島に空軍基地を新設するため工事に着手した、右ローズ島は面積廿五エーカの珊瑚礁である

ペタン政府國營通信社設立

【ヴイシー廿日同盟】ペタン政府は十九日國内國外の一切のニュースの蒐集撒布並に外國の通信社との連絡を目的とする國營のフランス通信社（オフイス・フランセーズ・ダンホル・マシオン）を設立する旨發表した

なほ嚢に政府が接收したアバス通信社の株式は新通信社に讓渡される筈である

輸出品用現在量配給規則公布

【東京電話】商工省では貿易振興對策として七月二日閣議決定の

一、戰時貿易振興對策要綱

一、輸出品用現在量確保方策要綱

につき輸出品等に關する臨時措置法にもとづいて廿三日輸出品及び輸出品用現在量配給規則を公布し、一月廿日施行する

右規則の要點は自由競爭による輸出品の價格低落の防止並に計畫貿易實施のため日本貿易振興會社ほか各品種別の統制會社を設立し、輸出品製造業者より買取りをはじめて、更に輸出業者に輸出條件、價格その他の條件を指定、販賣するほか東京、横濱、名古屋、大阪、神戸、西部各輸出振興會社並に中部貿易振興會社、神戸輸出品原料會社等を日本貿易振興會社に一元化して輸出品用現在量の配給統制を行ふものである

朝鮮自轉車配給統制組合指定

【東京電話】商工省では自轉車部分品並に附屬品配給統制規則第五條の規定により廿三日附告示を以て新たに朝鮮自轉車配給統制組合を指定する

右は從來自轉車卸商組が内地の小賣商組及び商工大臣の指定するもの以外には販賣出來ないことになつてゐるため指定追加されたものである、なほ右統制組合は本年十一月十一日結成され本部を京城に置き加盟組合員數四十七名である

郵、商兩社協定年末消滅

【東京電話】今年末を以て有效期間滿了となる郵、商協定について目下日本郵船並に大阪商船兩社首腦部で政府並に關係方面の意向を聽取すると共に折衝した結果

一、郵、商協定は今年末を以て自然消滅となしこれを更新せず

一、然し郵、商兩社は今後も從來の協定精神を維持し代表的社船として海運界を指導する

右の新方針を以て臨むことに内定した、從つて協定が滿期となると共に直ちに離散を來すことなく今後も協調關係を持續すべく新春匆々には郵船大谷社長、寺井副社長、大阪商船村田社長、神田副社長の兩社首腦部の會合が行はれるはず

内閣補强あつと云ふ間に

僅かに一晝夜の大車輪

【東京電話】師走の道に政局が慌しい足音を立てた、年の瀬に際がついたやうにこれが三年引續き、一昨年が近衞さんから平沼さんへ昨年暮は阿部さんから米内さんへ内閣のバトンを渡す鉛動が神經をピリ〳〵させたが、誕生は何れも秋の内だつた、今年のは凡そ意味が異つて内閣の補强だけに改造上手の近衞さんの手でアッといふ間に片がついた

×　×　×

第一次補强の平沼國務相は電光石火の登築だつたが第二次補强の大きな動きが目立つて來たのは廿日朝閣議前後二回に亘つて近衞、平沼會談が行はれてからだつた、霜凍る兩夜は日暮に從つて動きは俄然急ピッチをつけて、官邸日本間で近衞、木戸兩巨頭が密議一時間半、内府はオーバーのポケットに手をつつこんで辭去したのが午後十時十分

×　×　×

續いて富田翰長が禿げ上つた額をほてらして來てこの話しも約一時間、翰長の車は慌しく四谷の太田耕造氏邸へ、そして翰長が私邸に歸つたのは廿一日午前一時、かくて冬日和の朝がまだほのぼのと白んでゐる朝六時、今度は太田さんが西大久保の平沼氏邸へ、そして木戸内府邸を訪れる

×　×　×

今朝九時親任奉告のため西下するはずの平沼さんが急に旅行を取止めた、内閣强化の膳立はもうこでスッカリ濟んだ、僅かに一晝夜の大車輪だ、首相官邸の大玄關は誰れが來て誰れが歸つたか判らぬほどの騒ぎの内に近衞さんが十一時過ぎ參内した

×　×　×

正午伊藤情報局總裁が現はれ、慌しく記者團會見室へ「内閣補强のため内務、司法兩相が辭表を提出せられました、内務大臣の後任は平沼國務相、司法大臣は柳川平助氏です」と早口で一氣にしゃべつてハンカチで額を拭つた總裁初の大仕事だ、當の風見さんが間もなく官邸に現はれると野人は「俺は何も知らぬよ」と一言、冬の陽はさん〳〵と降り注いでケロリと内閣補强を終つた

鈴木興亞院政務部長が長官代行

【東京電話】柳川興亞院總務長官の法相就任による後任銓衡については、政府は日華基本條約の締結後の内外の客觀情勢を愼重に檢討し興亞院官制の問題とも睨合せて決定する意向の如く、當分の間鈴木政務部長が事務を代行する

……縣知事、矢野富山縣知事、警保局長には相川警視總監等が有力視されてゐる

風見氏翼贊會入り困難か

【東京電話】有馬翼贊會事務總長は翼贊會總務局長には二十一日内閣强化のため勇退した風見前法相が最適任としこれが近衞首相の意嚮を打診すべく二十一日午後四時首相官邸に近衞首相を訪問、會談したが首相としては風見法相が今回自ら内閣强化の礎石となつて退陣、指導者となつて翼贊運動を實踐したき希望を有してゐるので尊重して翼贊會の外側から積極的協力を求めたいとの意向を有してをり、これによつて風見前法相の翼贊會總務局長就任は困難と見られるに至つた

有馬事務總長近衞首相訪問

【東京電話】有馬翼贊會事務總長は廿一日午後四時首相官邸に近衞首相を訪問、今回の改造問題を中心に翼贊會今後の運營方針その他に關し種々懇談した

貴族院三部構成

【東京電話】翼贊會貴族院部の部長、副部長會は二十一日午前十時より華族會館に開催、前田局長、大久保、黒田兩總務、前田（利）、大井、島津三部長、各副部長等參集、左の如き貴族院三部の構成を決定し正午散會した

第一部　總務部委員　卅名とし陳情、連絡、庶務、會計の四部に分ち、各係に有給の書記を置き、陳情、連絡係には必要により囑託を置く、各係に理事一名づつ計四名を部員より出し殘餘の部員廿六名を十三名づつ陳情、連絡員に分ち、二名の副長は陳情、連絡及び庶務、會計の事務を分掌監督せしむ

第二部　入會議員全部を部員とし、部長直屬役員として理事、幹事四名を置き書記二、三名を置く、全部員を十三分科に配屬し、調査分擔せしめ、部員の各分科間の兼務を認め、各分科に理事二名づつ置き、うち一名を主任理事とし、ほかに調査委員若干を採用して調査立案に任ぜしむ

第三部　制度部議員五十名をもつて部員とす、部長の下に理事、幹事四名を置きほかに書記若干名及び全部の部員をもつて貴族院令改正及び議員法、衆議院選擧法改正の二特別委員會を構成し、各特別委員會に委員長を置く、部長と特別委員會との連絡のため更に理事四名を置く、今後貴族院關係事務打合せのため部長會を開き、部長會に副部長も出席せしめる、貴院部構成當初めの準備會委員四十五名をもつて協議委員とし、協議委員會の事務は第一部として行はしむ

國債五億發行

【東京電話】大藏省發表＝政府は廿一日三分半利國庫債券三億圓及び支那事變國庫債券二億圓合計五億圓を左記要項の通り發行した

▲三分半利國庫債券

一、國債名稱　三分半利國庫債券（え號）

二、發行額　額面三億圓

三、發行日　昭和十五年十二月二十一日

四、償還期限　昭和三十二年三月一日迄

五、發行價格　額面百圓に付九十八圓

六、利率　年三分五厘

七、利子支拂期間　三月一日及び九月一日

▲支那事變國庫債券

一、國債名稱　支那事變國庫債券（む號）

二、發行額　額面二億圓

三、發行日　昭和十五年十二月廿一日

四、償還期限　昭和三十六年三月一日迄

五、發行價格　額面百圓に付九十八圓

六、利率　年三分五厘

七、利子支拂期　三月一日及び九月一日

蠶絲關係官會議

【東京電話】農林省では廿一日午前十時より蠶絲關係官協議會を開催、本省より吉田蠶絲局長、平塚蠶絲課長、各道府縣蠶業試驗場長、各道府縣蠶絲主任官、道府縣蠶業試驗場長及び拓務省並に朝鮮總督府關係官百餘名出席、吉田蠶絲局長より蠶絲業管理統制に關する當局の意向を開陳した後、蠶絲業新體制に順應する地方蠶絲業者の指導方針につき指示を行ひ、續いて平塚蠶絲試驗場長より過日蠶品種審査會において決定した蠶品種の狀況並に原種の配合等につき説明あり、種々協議打合せ午後五時散會した

高野少將歸る

【長崎電話】官昌作戰をはじめ中支方面に一年九ケ月に亘つて活躍、今回の異動で仙臺陸軍教導學校長に榮轉の高野直滿陸軍少將、貴族院議員日華クラブ協會會長坂西利八郎中將は廿一日午後零時四十五分長崎入港の連絡船長崎丸で歸還、同二時卅分長崎港發急行でそれ〴〵東上した

滿洲興銀總裁岡田信氏就任

【東京電話】北海道拓殖銀行頭取岡田信氏は富田勇太郎氏辭任のあとをうけて滿洲興業銀行總裁に就任することに決定し、廿二日渡滿、承認を求めるが、岡田氏の後任には同行現取締役永田昌綽氏が昇格就任することに内定してゐる

本多駐支大使二十三日赴任

【東京電話】新任駐支大使本多熊太郎氏は岩杉前ニューヨーク總領事を臨時隨員として帶同、廿三日午後三時特急「富士」で赴任する

滿洲國政府法部次長更迭

【新京二十三日同盟】及川司法部次長は今回大藏省事務として日本に復歸することとなつたので政府は後任に前人事處長、前野氏の後任には星子總務廳參事官を起用することとなり、右に關する人事を十八日國務院會議で可決、御裁可を仰ぎ廿三日左の如く發令した

依願免官　司法部次長　及川德助

任司法部次長　總務廳人事處長　前野茂

鴨江水電二次計畫

【新京廿一日同盟】鴨綠江水電の第一次水力電氣發電所が明春五月頃に一部正式發電を開始、明年末迄にはほゞ完成の見込が立つに至つたので、更に第二次開發計畫として明年度より四ケ年計畫をもつて現在建設中の水豐ダム上流の價溝及び下流新義州の二ケ所に開發計畫を樹て日滿兩國に對して折衝を進めることとなつた

社會事業文獻賞制

【東京電話】中央社會事業協會社會事業研究所では我が國社會事業の進展に資する目的を以て社會事業文獻賞制を設け本年度發行の戰時本新聞雜誌等から第一回文獻賞候補文獻を選考するためこの程審査委員會で審査委員を決定、近日賞狀授與式を擧行することになつた

肥料主任官會議

總督府では十九日から廿一日の三日間に亘り本府第二會議室に各道肥料主任官會議を開催し明十六年度以降における自給肥料の增産に對する具體的方策竝に配給の改善その他を協議決定した

部落打合會

【大田】忠南道では農山村新體制に即應すべく部落常會の設置、部落單位生産擴充計畫の樹立等指導並に概況調査に關する打合會を開催せしむることとなつたが日割は次の通り

一月七日大德、燕岐、青陽▲同八日公州、大安、保寧▲同九日論山牙山、洪城▲同十日扶餘、禮山、瑞山▲同十一日唐津、[illegible]

洒見檢事正

【群山】洒見全州地方法院檢事正は事務視察を兼ね新任挨拶のため群山地方法院支廳を來群、十九日午後視察し午後は群山警察署長その他を訪ひ新任の挨拶をなして午後四時退群

外務辭令

【東京電話】外務辭令（二十一日附）

特命全權大使（米國）……

依願免本官……

人

◇倉間幸雄氏（……）東上中廿七日……

◇中野正氷氏（……）廿日入城、廿二日「大陸」で東京へ

社說

近衛内閣の強化の意義

第七十六議會を目前に控へて今回閣内の強化が行はれ、内相に平沼男、司法大臣に柳川平助中將が親任せられた。元首相平沼男の内相は閣内一段と重味を加へるものであり、柳川將軍の法相は前例はあつたが、軍人出身の法相には近衞首相の狙ひの還しさが看取される。而して有力なる兩氏が閣内の樞要位地に列あたことは、内閣をして更に強力化せしむるものであつて、戰時内閣として洵に慶賀しい感を與へる。而して今日我が國をめぐる内外諸般の情勢に顧みるとき、今後における兩氏の活躍は大いに期待すべきものがある。即ち近衞内閣が國民の興望を擔つて組成されて以來、政府當局に首相を中心とする大政翼贊會の國民的革新運動の進展は、必ずしも平々坦々たる大道を往くが如きものではなかつたやうである。殊に國内にあつては大政翼贊運動の實践に伴ふ組織再編成に關する諸問題、翼贊會の機能、性格に關する問題、或は官僚獨善に對する不滿、選擧法改正問題など相當深刻なる論議が試みられてゐる。一方對外的問題としても三國同盟締結後における外交の諸問題を初め日華基本條約に基く諸問題、支那事變の完遂、東亞經濟圏建設問題等重要問題が山積してゐるのである。

◇

而して來るべき議會において、これらの諸問題が由當に批判されるであらうことは容易に想像される處であつて、議會の前途は必ずしも樂觀を許さざるものがある。かゝる情勢下において政府が平沼男を無任所相として起用し、更に今回同氏を内相に、柳川氏を法相に據ゑたことは、これらの諸問題の批判に答へんとするものであることは明瞭な處で、來るべき議會に備ふる政府陣營の強化工作にほかならぬ。

◇

されば今回平沼男が安井氏に代り内相に就任したことは右の事情を考慮するならば當然首肯出來る處であつて、平沼男の内相就任によつて政府は大政翼贊運動の運營に一威力を加へ、翼贊會に對する輿望を重からしむるものであり、重要國策の遂行に實踐力を附加したものとみてよい。更に一面には翼贊會問題を繞る一部不穩なる政治的動向を全く抑制し、内閣の革新諸政策の遂行によつて實質的反應を加へんとするものであるとはまた疑ふべくもない。

◇

柳川氏の入閣も平沼男の事情と全く同樣、要するに内閣の強化によつて來議會突破の態勢を整へたものであるが、將軍の法相就任は近年珍しい。然しながら將軍外交官の轉任用といふ新手を打ちつゝある松岡人事をもつてみれば現内閣として敢て奇異とするに足りないであらう。殊に平沼男には日本主義陣營方面の背景が強く、柳川氏また國本社の幹部メムバーの一人であり、革新勢力の有力な自頭であることを知るならば、今回の内閣改造の眞意が奈邊にあるかも自ら瞭然するであらう。

住宅問題解決に借地借家調停令〔公布〕
鮮内九都市一齊施行

總督府が深刻な住宅難から起る家主、借主間の紛爭問題を調停裁判によつて解決し得る社會立法の見地より立案中の「朝鮮借地借家調停令」は來る廿三日公布、明年一月一日から、京城、仁川、咸興、元山、平壤、淸津、新義州、大邱、釜山の九都市に施行することになつた、同令は別項の如く全文三十八ケ條から成り、内鮮人に適用するが内地の借地借家調停令よりも強力をもたせ、商店もアパート、下宿、ビル等の一般貸借にも適用し、手數料も、民事訴訟法にかけ…紙類の三分の一程度といふ低率で社會立法を強調したもので同令の施行は發展な住宅問題を解決する明朗法文としてその適用が期待される

條令全文

第一條 土地又は建物の賃借、地代、家賃其の他借地借家關係に付爭議を生じたるときは當事者は本令に依り調停の申立を爲すことを得前項に於て借地とは建物所有の目的を以て賃借せられ又は地上權を設定せられたる土地を謂ひ借家とは賃借せられたる建物(建物の一部たる場合を含む)を謂ふ

第二條 調停の申立は爭議の目的を明にして之を爲すことを要す

第三條 調停の申立は爭議の目的たる土地又は建物の所在地を管轄する地方法院又は地方法院支廳に之を爲すことを要す

第四條 調停事件は地方法院又は地方法院支廳の判事單獨にて之を取扱ふ

第五條 爭議の目的たる土地又は建物が數個の裁判所の管轄區域内に存する場合に於て調停の申立を受けたる地方法院又は地方法院支廳相當と認むるときは決定を以て事件を他の管轄地方法院又は地方法院支廳に移送することを得管轄權なき裁判所が調停の申立を受けたるとき亦同じ前項の決定に對しては不服を申立つることを得ず

……

立に依り決定を以て擔保を供し又は供せしめずして強制執行手續又は朝鮮民事令に於て依ることを定めたる競賣法に依る競賣手續を一時停止することを得朝鮮民事令に於て依ることを定める民事訴訟法第百十二條、第百十三條、第百十五條及第百十六條の規定は前項の擔保に之を準用す、第一項及第二項の決定に對しては不服を申立つることを得ず

第九條 調停の結果に付利害關係を有する者は裁判所の許可を受け調停に參加することを得裁判所は調停の結果に付利害關係を有する者の參加を求むることを得

……

第十五條 調停成りたるときは調書を作ることを要す

調停に付ては裁判所書記其の調書を作ることを要す

第十六條 調停は裁判上の和解と同一の效力を有す

第十七條 裁判所は調停前調停の爲必要と認むる處分を命ずることを得

第十八條 裁判所調停の申立を受理したるときは調停委員會を開くことを得

……

第二十五條 調停委員會を開きたる場合に於ては第九條、第十條第十一條第一項但書及第二項、第十二條但書並に第十七條に規定する裁判所の權限は調停委員會に屬す

第二十六條 調停委員會は當事者又は利害關係人の陳述を聽き且必要と認むるときは證據調を爲さしめ又は之を地方法院若は地方法院支廳に囑託することを得證據調に付ては朝鮮民事令に於てよることを定めたる民事訴訟法を準用す

鑑定人及鑑定人の受くべき旅費、日當及止宿料に付ては朝鮮民事令に於て依ることを定めたる民事訴訟費用法を準用す

第二十七條 調停委員會第六條第一項に規定する事由ありと認むるときは調停を爲さざることを得

第二十八條 調停成りたるときは裁判所は調停主任の報告を聽き調停の認否に付決定を爲すことを要す調停認否の決定に對しては不服を申立つることを得ず調停不認可の決定に對しては朝鮮民事令に於て依ることを定めたる民事訴訟法に從ひ即時抗告をなすことを得

第二十九條 裁判所は調停が著しく公正ならずと認むる場合に非ざれば調停不認可の決定を爲すことを得ず

第三十條 調停委員會を開きたる場合に於ては調停は認可決定ありたるときに限り裁判上の和解と同一の效力を有す

第三十一條 調停手續に於ける當事者又は利害關係人の申述は之を民事訴訟に於て援用することを得ず

……

謄寫若は其の正本、謄本若は抄本若は事件に關する證明書の付與を裁判所書記に求むることを得但し當事者が事件の要點中記錄の閲覽又は謄寫を爲す場合に於ては手數料を納付することを要せず

第三十六條 第三十二條の旅費、日當及止宿料並に前二條の手數料の額は朝鮮總督之を定む

第三十七條 裁判所又は調停委員會の呼出を受けたる當事者が正當の事由なくして出頭せざるときは調停事件の繫屬する裁判所は五十圓以下の過料に處することを得但し調停委員會の呼出を

受け出頭せる當事者に付ては豫め調停委員會の意見を聽くことを要す

第三十八條 調停委員又は調停委員たりし者故なく評議の顛末又は調停主任、調停委員の意見若は多少の數を漏泄したるときは千圓以下の罰金に處す

附則

本令施行の期日は朝鮮總督之を定む

本令施行の地區は朝鮮總督之を定む

朝鮮借地借家停調令は昭和十六年一月一日より左の地區に之を施行す

……

二百五十圓迄五圓、同五百圓迄八圓、同七百七十圓迄十圓、同千圓迄十二錢、同二千五百圓迄十七圓、同五千圓迄二十圓、同五千圓以上は千圓に達する毎に二圓を加ふ

調停を求むる事項の價額を算定すること能はざるときは其の價格は百圓と看做す

第二條 昭和十四年朝鮮總督府令第百二十一號第二條乃至第五條の規定は記錄の閲覽若は謄寫又は其の正本、謄本、抄本若は事件に關する證明書の付與を求むる手數料及手數料の納付並に調停委員の旅費、日當及止宿料に付之を準用す

附則 本令は朝鮮借地借家調停令施行の日より之を施行す

内鮮結婚問題

十七日夜のニュースで内鮮結婚運動の放送を聞き當局の方針に感謝を捧げます

……志願兵制度も早く徴兵制に……ならない、而も内鮮結婚を措い……

(巣山生)

世界ニュース地圖

15.12.14—21

(十四日)ペタン佛主席ラヴァル副首相罷免を發表

(十九日)獨、バルカン諸國、ソ聯邦と經濟協定更新の交渉を始む

(十九日)國府、歐洲駐在使節使節を任命

(十九日)國府、中央儲備銀行制設を決定す

(十六日)大政翼贊會臨時中央協力會議開催、十八日終了

(十八日)日、佛印東京會談、外務省より發表さる

(十七日)國民總力朝鮮聯盟の下部組織成る

(十八日)重慶、佛印紛爭のための…

(十九日)駐獨大使に大島浩中將の起用決る

(廿一日)近衞内閣强化内相に平沼騏一郎男、法相に柳川平助中將親任さる

(十六日)アルーム米下院外交委員長、現行中立法の全面的撤廢を…

ヴィシー　ベルリン　重慶　南京　京城　東京　ニューヨーク

發令について　法務局長談

借地借家調停令は……

大陸建設の一ケ年 (一)
華北の政治建設
共産軍剿滅作戰の展開

北支篇

【北京同盟】多大の治績を殘した臨時政府が解消したことは本年最大の政治的變化であり、華北の歷史はこの政治機構の變革を中軸として大きく轉回した、青島會談に、南京會談に新しい政治……

つて治安の回復は目覺しく、一部辟遠の地を除いては新政權の威令は漸く滲透しつゝある、然しながら新政權治下に潛入し、新秩序建設を妨害する共産軍は、皇軍の監視の眼をかすめて執拗なる蠢動を續け、今春以來の我が掃蕩討伐戰も主として共産軍を目標と……

……語に絕する苦心のもとに續けられ遂に六月十九日隔絕を解除するに至つた、これによつて多年抗日の徒の温床とまで云はれたものに對して加へた痛撃「租界隔絕」は一年有餘に亘り日華兩當事者の言語に絕する苦心のもとに續けられ遂に六月十日隔絕を解除するに至……

治安

政治

經濟關係

金融物價

華北唯一の通貨たる聯銀券は、關係方面の努力によつてその流通範圍が着々擴大し國内通貨として基礎を固めてゐる、發行高の急增はインフレへの展開を危惧され、物價の上にも顯著な昂騰歩調となつて反映するに至つたが、當局の適切なる對策によつて漸く安定を見、物價の騰勢も一應に落ち着きを示した、しかるに内地の對圓域向輸出制限とこれに伴ふ價格調整により不當なる價格差益を一部業者に享受せしめる弊は是正されたが、調整料の徴收が内地で行はれるため現實の華北における價格と調整料その他を加へた内地物資の採算とが背馳するに至り華北、對日輸入は各種輸入組合機構の完備にもかゝはらず殆ど杜絕し聯銀券の裏打ちとしての物資は入手せられず年末等の季節關係の影響もあつて物價の增加傾向は漸次強まる結果となつた

思想

華北の特殊性に對應して結成された唯一の民衆組織新民會は既に尨大な組織と會員を擁して民衆の指導に一大貢獻をなしてゐる、更に今夏政府との表裏一體化を完成、秋に至つて各省中央總會所に聯合協議會を開催しその成果を以て十二月九日より北京において全體聯合協議會を開いて上意下達、下意上達を文字通り具現し今後の會工作に一段の力強さを加ふるに至つた

敎育

過れる抗日敎育方針を是正し新らしき知性と敎養を授けるため華北政務委員會敎育總署では敎科書の改編、敎職員の再訓練に努力時勢に即應した眞劍な敎育を施してゐる、現在華北の大學三、專門學校四、男女中等學校二百四十五小學校二千五百餘がいづれも開校就中國立北京大學、外國系の燕京大學には多數の日本人敎授を招聘する外日本人學生も入學、東亞を目指す中國學生と机を並べ學びの道にいそしんでゐる

美術

國立北京藝術學校の復歸、東亞美術協會の結成提携による東亞美術學校の……美の精神昂揚を通して日華親和に寄與しつゝある、また華北醫學、同仁會、新民會、華北交通、北政務委員會の各診療機關の活動、防疫事業の擴大強化は"病魔華北"の建設に隱れた貢獻をなしてゐる

放射線

【青森】…西津輕郡車力村に全國に見る天然ガス噴出、近く企業化される

【東京】…川柳界にも新體制、東京市内廿四吟社を網羅して"日本川柳協會"を結成した、更に全國組織へ

【長野】…上諏訪町では明年度から溫泉税、溫泉旅館宿泊客から一人一日五錢を徴收、年額一萬圓の豫定となる

【静岡】…濱松市商業組合が市役所の所員に激勵をあげた

【奈良】…郡山高女生徒の使用してゐる廊下は全部お手製の古布利用の雜巾

【和歌山】…移民紀州の意氣をみよ、縣の斡旋で來年三月までに一家族七十名が英領ボルネオへ移住する

【香川】…丸龜市内町會長同盟さんの申合せ"甘歳以下の男子は總て丸坊主のこと、甘歳以上でも長髪(眉毛より下へ垂れるもの)は斷然ハサミを入れる"

お斷り

『北鮮三港とその背後』記事輻湊につき本日休載

大湊防備隊の標準
スキー界の新體制

現在の一般スキー界には種々な形式と名稱でスキーの講習會が開かれてゐるが、大體に於て初級、中級、上級といつた漠然たる區別があるだけで統一されてはゐない、全日本スキー聯盟の全國スキー講習會も一級、二級の區別の下に行はれてゐた、併しこれらの級別のテストに於て最も具體的なものを持つてゐるのは大湊の海軍防備隊である、大湊のスキーは日本のスキー界に於ても至つて古い歴史を有してゐるだけに、その訓練方法にも研究のあとがある、現在大湊防備隊で行つてゐるのは級を一級から五級まで分け、相當時間スキー訓練した者を次のやうな標準でテストしてゐる

一、五級になるためには十度から廿度の斜面で、途中五十糎の高低を持つギヤツプの三つある全滑降距離二百米を直滑降で轉倒せずに滑降し、さらに同一斜面で左右二回の廻轉(種類を問はず)をしなければならない

一、四級になるためには四十度の斜面で同じく三つのギヤツプを含む三百米の距離を無轉倒で滑降し、同一斜面で左右二回のステム・ボーゲンとステム・クリスチヤニヤ、それに各種の平地滑走を行はなければならない

一、三級になるのには四十五度以上の斜面でステップ・ターン・クリスチヤニヤ、ステム・ボーゲン・ジヤンプターン各種の平地滑走を全部行はなければならない

一、二級になるには三級の科目の他に十八米程度のジヤンプを課してゐる

一、一級は廿米以上のジヤンプと教授法が課せられてゐる

以上のやうな訓練テスト内容は一般のスキー界からみたら可なり難かしい感じがするが大湊の防備隊ではこのスキーテストが海軍兵としての關際にまでなるので眞劍な訓練を行つてゐる、

國防スキーの訓練は幾度も述べたやうに様々な面のスキーが有機的に一つの力を形成するやうになるのであるから自己に與へられたる職務に適應するスキー訓練を中心として行はねばならない、だが同時に有機力を發揮するためにはスキー術そのものの強化訓練をも併せ行はなければならない

例へば自分は徒歩部隊だからといつて短スキー、ワツクス不用、制動中心の技術や訓練だけに終始してはならない、有機的力を強化するがためには傳令、指揮官、先遣隊に要求されるスピードあるスキー術(ワツクス技術をも含めて)をも心して絶えずこれが訓練に力を注がなければならないのだ、またスキー技術が素晴らしいからといつてスピードばかりのスキーをやつてゐてはならない、時には未知の地形と地圖を按じながら短スキーによる安全確實な行軍訓練をも行ふ必要がある、かくすることによつてスピードやワツクス技術を要する高度スキー術を絶えず意識する安全確實なスキーがあり、安全確實なスキーを意識する高度スキーがあつて國防スキーは徐々進展をつゞけてゆく譯である

そして柔道や劍道に段別があると同じ意味でスキーにも一種の級制が生れることも豫想され、これを更に發展させてゆくと、單なるスキーだけの世界に止まらず、登山の領域にも入つてゆき、高度國防國家の翼下に於ける國民の精神、體位の兩方面に多大の寄與をなすことになる、大湊のスキーテストの標準はかゝる際の一つの研究材料には十分役立つと思ふ

以上長々と國防スキーに關して研究材料を並べて來たが、これらのものは未だ何れも素材であり、完成は今後スキー人の手によつてなされなければならないものだといふことを記憶すべきである

現在のスキー界は競技は競技でその獨自の立場にたてこもり、登山は登山でまた獨善的孤高感を持ち、競技でもない登山でもないスキー人は、たゞスキーが面白く身體のためになるといつた觀念から一歩も抜け出さうとしてゐない、そしてその間に大きな「日本のスキー」といふものが強力なる存在性を持ち得ない有様だ

高度國防國家が向ふ一線はかゝる分派を否定し、飽まで有機的な力の發揮を要求し必要としてゐる、日本のスキーの各々がこの一線に歩み寄るためにはスキーの國防性に出發する新しい國防スキーの建設をどうしてもしなければならない、日本のスキーは今こそそれへの出發に對して三思すべきである(小島六郎)=完=

聖紀の半島體育界を顧る ③
何故のこの沈滯
陸協の新機構が必要
陸上競技の巻

世界の孫基禎、南昇龍兩君のマラソン雄豪を出し最近では更に跳躍日本の誇る金源權を産んだ半島競技界はこの三年間沈滯をつゞけ輝く二千六百年を迎へて蘇へるものと豫想されてゐたが、その期待はあつけなく裏切られて眠るつきの低調を示しこのまゝ佳き年を終らねばならなくなつた、即ち短距離では百米の本年度最高記録が朝鮮神宮奉贊體育大會の「道對抗」で作られた(西京陵=平南=の一〇秒九)が、中距離もマラソンも全般的に悪い記録を殘し、跳躍も投擲も一部分の好記録を除いては全般的に向上の足跡はみられないのである、このやうな不振のうちにも金源權君(普專)の三段跳一五米六八は本年度世界十傑の一位に、また走幅跳の七米八三は第三位に列せられて世界の「金選手」として偉大な名を顯したが、この二つの記録は金君が脚に肉ばなれの故障を起す前に作つた記録であり金君は新京での鮮滿對抗競技以來益々ひどくなる痛みで、秋のシーズンにはすつかり自信を失つた、このやうな事故が生れなかつたとしたならば宿望の一六米(三段跳)は、歴史的なかの東亞大會でなしとげられるところであつた、金君は明春普專を卒業、内地の大學に轉進することとなつたから一六米突破の希望は内地での活躍に期待せられるわけである

▽▽……

一方女子競技のめざましい擡頭がこの一年の半島競技界にあつて、明るく飾つた、それは新銳鄭仕順(梨花女)と土佐俊子(京城第一女)兩孃の自信のついた活躍ぶりであつた、この春彗星のやうに進出してきた鄭孃は明治神宮大會朝鮮豫選の走幅跳で五米二〇といふ大記録を出して斯界をあつと驚かせたが十一月の明治神宮本大會では朝鮮での記録には及ばなかつたが、五米〇三を跳んで全國の第三位を獲得し、百米では一二秒九といふ朝鮮最高記録を印して、いよく確固たる地位を全日本的に占めるに至つた、また土佐孃は朝鮮豫選で跳んだ一米四〇の記録を明治神宮大會の本大會で更に作り、堂々三位に入賞、かくて鄭、土佐兩孃の活躍により朝鮮の女子競技界は全日本的にめざましい進出をなしたのだ

代表的なこの兩孃のみでなく、全體的には朝鮮の女子競技界は對内的にも非常な活況を呈した、即ち各女學校が陸上競技を眞面目に考へるやうになり前進した機運によつて記録的にも未曾有に進歩した向上を擧げたものと見てよい

▽▽……

外に男子部では三千米障碍(朝鮮神宮大會)で劉興君が出した朝鮮新記録の一〇分一八秒、それに申應植(普專)がつくつた明治神宮大會朝鮮豫選會でのハンマー投四六米九四(朝鮮新記録)がわづかにひかつてをり、鄭鎬根君が二千四百米で日本第一線に躍り出したのが注目を惹くだけである、マラソンの木本在天君は明治神宮大會で二時間三五分〇二秒で第二位に入賞やうやく世界十傑の第五位に潛りつけたが「世界のマラソン半島」が、二時間三五分台の記録で甘んぜなければならないといふことの足跡は鮮滿對抗の慘敗とゝもにあまりにもみぢめな敗退ぶりとみなければならない、

しかしわれ等の感激いまだ新たな宮崎、畝傍間聖路一千キロの奉祝大會驛傳競走制覇こそは聖紀の誇りであり、半島陸界のこよなき譽れだつた、そして朝鮮體育史を永遠にかざつて朽ちないだらう、然しこの驛傳の制覇をもつて本年度の半島陸上競技を高く價値づけることは出來ないのである、走る競技の驛傳競走ではあつたが、これは完全に獨立した驛傳種目の勝利であつて陸上競技界がかち得た譽れではないからだ

我等はこのやうに沈滯を續けてゐる、行く半島陸上界を愼重に考へねばならない、何がかう半島陸上界を沈滯せしめたか、その罪は競技人自身でもない、そして競技界がもつ精神的缺陷によるものでもない、斷じてその責任は指導統制機關にあるのである、事實最近の陸上競技協會は無能そのものを暴露してゐる、第一に陸協は先づ眞摯さがない、そしてその體制たるや半島競技會のうちでも最も舊い理念と色彩に覆はれてをり行事計畫は萬遍一律、世紀前の「競技會體制」をそのまゝに固持してをりそして競技人の要望する眞の指導を知らないのだ、たゞ狹い機關の中で繩張り爭ひに一年を徒らに送るだけだ

▽▽……

須く陸協も新體制といふ大きな動きにそして沿ふべきであり眞に陸上競技を解し陸上競技を愛する清新の氣に溢れた人材を登用して機構を革新すべきだ、陸協に新體制の聲をきかないかぎり、半島陸界は日を逐ふて低下の道をたどるばかりであらう、半島陸上界再建の道は一つに陸協の機構如何にかゝつてゐる

ドイツの柔道熱

戰時下ドイツにおける柔道熱は大青年の血を沸かしベルリン市内は勿論全ドイツに普及されるに至つてゐるが、ライヒス・スポーツ・アブダイルングの柔道協會主催で全ドイツ柔道大會を去る十月十九、廿の兩日ベルリン市シヤロツテンブルグ區ゲーテ街ポストシボルトザールで開催した、これは毎年一回開かれる柔道祭ともいふべき大會で後援はスポーツ大臣チヤンマー・ウント・オステン氏、日本側からは杉田少佐(五段)、澁谷少佐(三段)島田準吾(初段)三氏が委員として出席、觀衆二千餘り、廣くもない會場を埋めつくし全ドイツ各都市代表總計九十名、女子選手六名が出場熱戰を演じたが、本年度優勝者は左の五名で中には昭和十三年來朝したヘルムート・レーマン氏の名も出てゐる、氏は昭和十四年一月講道館より四段を與へられ、歸國後引續きベルリン警察署の柔道教師をしてゐる

◇優勝者 ウリー氏、クノール氏、フランク氏、レーマン氏(以上ベルリン)ミヂケ氏(ドレースデン)

學生氷球の組合せ決る

【東京電話】全國學生氷上競技聯盟では十六日夜芝浦リンクで代表委員會を開催、一月七日から四日間芝浦で擧行される全國學生氷球選手權の組合日程を次の通り決定した、なほ早慶スピード競技の期日は一月十一、十二の兩日と變更された

▽第一日(7日=開始0時30)A早大―東北大B同志大―中央大C立教―北大D京大―東大【二回戰】E明大―法大▽第二日(8日=開始0時30)【二回戰】F慶應―關學、A勝者―B勝者、C勝者―D勝者▽第三日(9日=開始6時30)【準決勝】F勝者―CD勝者、E勝者―AB勝者▽第四日(01日=開始7時30)決勝

梨花籠球部 廿七日出發

梨花高女籠球部では新春劈頭開催の全日本綜合籠球選手權大會出場のため來る廿七日午後平山部長引率の下にあかつきで壯途に上る、一行氏名次の通り

部長平山東旭▲監督李本恩濟▲選手木原ミエ子、金海眞明子、中川美代子、具原聖子、松原淑子、大永敬子、東宮昇子、平田清子、碧源貞玉

大阪府の拳鬪中止問題
"理解苦しむ"
『大日拳』鈴木氏語る

【大阪電話】大日本拳鬪會大阪支部鈴木信治氏談

何故かういふ狀態になつたか甚だ理解に苦しんでゐます、禁止理由を當局に聞けば「府の方針だから」といふのみで何等その理由がハツキリしてゐないのです、從來一部に表面寄付興行としながら背德行爲をやつたのがありこれが當局の感情を害したといふ人もあります、併し一部の惡い行爲のみを取立て、全部を非難するには當らないと思ひます、特に眞眞會の本間氏が拳鬪は肉體と精神訓練の好對象であると演說された程だのに全く不可解な話です、現在大阪には倶樂部が十ありますが實際には大阪府下にはリングがないのでそれほどの痛痒でもありません

堀口に沈相旭挑戦

【東京支社發】最近渡朝して好調振りを見せてゐる沈相旭(拳道會)はピストン堀口に挑戦、一月四日午後六時から國技館で十回戰を擧行する

世紀の除夜 【84】

北村小松(作)
都竹伸一(畫)

冬近く(九)

『えゝ、御會ひしましたわ』

しばらく樺島を見つめたあとで美佐子がうなづいた。

『僕はあの人が僕に手紙をよこしたのです。それで僕は、あなたに會つて一度あの人の事を話しておいた方がよいと默つてあゝいふ速達を出したわけなんです……』

『さうですか?』

美佐子の返事は、氣のない返事のやうに樺島には感じられた。

事實、美佐子は、もうそんなことは澤山のやうな氣がしてゐるのだ。今日だつて、たゞ徹にあの速達を貰つただけでは、樺島の所へやつて來なかつたかも知れない。

――勿論、意地になつて樺島の申し出を何もかも拒否してしまはうと思つてゐるわけではないが、正直なところ、あゝいふ手紙だけでは、樺島の所へやつて來る理由が薄弱なやうな氣がする美佐子だつた。それかと云つて、誠太郎の職業のことを理由にしてのみ樺島の所へ來る……といふやうなそんな云ひのがれじみた氣持で來たのでもなく、割に虚心な氣持で來られたのであつたが、來たとたんに、あの千世子といふ人の事をいひ出されると、やつぱり多少の反撥と何か知ら氣持にさからふものを感じないではゐられないのだつた。

『……こんな手紙なんだが、讀んでみますか?』

樺島は、達筆に書かれた、一通の手紙を、懐から取出して美佐子の前にそつと置いた。

『あたし別に拜見したいとは思ひませんけど……何かあたしのことに關して書いてございますの?』

美佐子は、かういつて紅茶を一口すゝつた。

『別にあなたのことを書いてあるといふわけではないのだが、一種の忠告みたいなことが書いてあります……』

『あの方は、あたしにも忠告して下すつたわ……』

美佐子は、ニコリともせずに、かういつた。

『あなたに忠告ですつて?』

樺島は驚いたやうに美佐子をのぞき込みながらいふ。

『どんな忠告をしたんです……』

『あなたとあたしが結婚しないで幸せだつた……今でもあなたのことを思つてゐるなら、およしなさい。あなたは駄目な方だ……つていふやうなことでしたわ……』

『僕が、だめな人間だつて?』

『えゝ……』

『さういふことを、初めて會つた人にでもいへる人間なんだ、あの女は……』

樺島は憮然としたやうな面持でいふのだ。

『それどころか、どんなことをいひ出すか分らないんだ。だから、僕は、一度、あなたにあの女のことを説明しておく必要があると思つたんです』

『かまはないぢやありませんか、どんなことをいつたつて……そんなこと、大した問題ぢやありませんわ。昔だつたらとにかく、少くとも今のあたしにとつては……』

『然し僕には問題ですよ。僕のことを駄目な人間だなんていひ歩かれちや……』

『……』

美佐子は苦笑した。

『あの方が、だめな方だと思つてゐるんなら、いくらあなたが駄目でないとおつしやつてもしようがないぢやありませんか……お二人で、お互ひに駄目だとお思ひになつたんで、本當に駄目になつておしまひになつたんでせう?』

日曜の科學

煤煙の多い街では 洗濯代が三倍に嵩む

京城府内の煤塵に就て

京城府衛生課 小出英夫

都市の發展膨脹と工業の隆盛につれて、煤煙、煤塵が增加し、保健上直接、間接の被害を被るとは都市居住者の避け得ない惱みであります、それをその儘放置することは、今後益々都市居住者の體質の低下を來し、それのみならず都市洗濯の保健衛生上にも重大な影響を與へるものでありまして、都市に於ける初生兒、學校兒童の結核性患者の多い事、乳兒の死亡率の高いとの原因の一として考へられるものであります、大阪市の調査によりますと煤塵を直接吸入する事に依つて、呼吸器の肺内沈着を起し、程度には都市肺と云はれるもの、高度に進みますと所謂炭肺を起す危險がある

更に間接の被害として環境の汚染を來し、それが原因となつて室内の通風換氣を不良ならしめる他、日射量及び紫外線を阻害し、又煤塵は煙の中の亞硫酸瓦斯と共に、植物に作用して、その繁殖を阻害し遂には枯死に到らしめて、精神的にも保健上にも害を及ぼすことが多いと述べられてをります、尚ほ其他經濟上の損害としては燃料の不經濟が最も大きく、更に建物、衣服汁器類、裝飾品の損傷、洗濯費の過剰人工照明の過剰費用等を擧げてをりますが我々の周圍でも婦人の白足袋が一回の外出で眞黒になり洗濯しなければ再びはけない事といふ事はよく見聞する所であり、まして、その精神的、經濟的、肉體的損害は到底に徐々であり、且細かいとでありますのであまり目立たないのでありますが、數にするとかなり大きいのであります

其の一例を示しますと、大阪市と奈良市とでは大阪市は奈良市の大體三倍の洗濯代を要し奈良市一戸當り一ケ月の洗濯費一、二九圓と見做せば大阪市はその三倍三、八七圓で年に三一圓の洗濯費が餘分に費消され此の過剰費用を大阪市全世帶數を四八四、〇〇〇として全市に見積る時は一ケ月に一、二四八、七二〇圓、一ケ年には一四、九八五、〇〇〇圓になると報告して居ります

この樣に保健衛生上及び經濟上少からざる損害をもたらす煤煙は一日も早く抑壓しなくてはならないものでありますが、之は單に取締りのみで解決するものではなく道德的に努力して始めて効果を擧げることが出來るものであります、京城府においても昭和十年六月以降この調査を始めまして京城府内の煤塵量及びその由つて來る原因につき調査し、之が豫防策を講ずるため狹間衛生課長の指導の下に實行し來つて居るものでありますが、その成績を簡單に述べてみたいと思ひます

調査の方法は種々有りますが、京城府で行つた方法は自然降下煤塵量の測定と空氣一立方米中の飛塵量の測定とでありまして前者は四平方尺の鉛板張りの漏斗を鐵製の支持台に乘せ、下に廿リットル入りの受器をつけたものを一定の場所に置き、此の上に降下する煤塵量を水で受器中に洗ひ落して水分を濾過し、殘つた煤塵量を測定する方法で此の受器を京城市内十一箇所に設置して行ひました、後者はロータリーポンプで一立方米の空氣を吸引し之を濾紙に透して濾紙面に殘つた煤塵量を測定する方法で任意の場所に移動して試驗を行ひ得るものであります。降下煤塵量の測定結果を見ますと、京城全市十一箇所の一個月平均二、七二三瓦其の内は三二、六七七瓦であります、此れは四平方尺上の煤塵量でありますが、之を一平方哩上に換算しますと三三〇、三二四噸の膨大なる數字となります

この煤塵量を更に可燃燒物と灰分に別けますと、京城府の一ケ年一平方哩上に落下する可燃燒物は三三、五九〇トンでありまして、

塵埃の最も多い南大門

この成績を大阪市のそれに比べますと、昭和八年大阪市の成績一箇年四平方尺上三二・二八瓦、一平方哩上三二八噸よりも大いのでありますが、田中文甫氏の滿洲における成績に對比しますと新京(四四六、八四噸)(大連市三七四、一五噸)奉天市(三六一、三七〇噸)よりは少ないのでありまして、滿洲においては黄塵の關係上多量になるやうであります

大阪市は舊市においては京城より多く新市においては少いのであります、州の三都市は京城より燃燒物においても多量でありますが總量における可燃燒物の%を見ますと、[illegible]すと、一ケ月平均量より多い月を順序に配列しますと、三月、十二月、一月、二月、十一月の順[illegible]

[illegible]て、空氣一立方米中の飛塵量を見ますと、降下煤塵量の多い所はまた飛塵量が多くなつて居ります

以上の成績から要約しますと、京城府の煤塵量は大阪市とその趣きを異にして居り、昭和八年の大阪市の成績よりは總量は多いが、可燃燒物の量と灰分の量との比が大阪は前者が多いが京城は後者が多い數字を示して居ります

つまり道路の鋪裝不完全な爲、塵が多くなるのではないかと思はれます、特に京城府としての防塵策は鋪裝面積の增加と車輪のゴム輪改造、牛馬人家屋の改造、溫突燃料の改善等に意を注がねばならないものと思はれます

音波で煤煙除去 これはアメリカの話

[illegible]つて、この節間を通るやうになつてゐるが、かうして壓縮された音波が煙に當ると、煙の粒子が結合して大きくなり、室の底に落ちてそして、その空氣は、他端の孔から出るまでに、度々節間の作用を受け、最初の處理によつて除去されなかつた粒子もたたき落されて室外に出る時には完全に淸淨なものとなるのである

この方法は煤煙のみならず化學藥品の蒸氣、亞硫酸、霧などを除き去ることもできるといはれてゐる

ダイヤを人造

ダイヤモンドが人造出來るといつても、あまり驚く人もないでせうが、チエネロル・エレクトリックのC・A・ニツケル氏によつて最近いとも簡單にダイヤを造り出すことに成功したのです、勿論ダイヤといつても寶石となるやうな巨大なものは未だ出來ないのですが、研磨材料として優秀な材料これで得られることになり、注目をひいてゐる

【寫眞=ダイヤを造るニツケル氏】

讀話室

獨軍食糧は大豆か スープやパンに混ぜて美味

日本の大豆は醬油の原料に用ひ[illegible]びそれをスープ、ソーセージ、パン、乾麺麭等に混ぜてゐる[illegible]

千九百卅五—卅六年には約五十萬噸を、千九百卅九年[illegible]

[illegible]の報告によると、これからの收穫をも併せて、ドイツが貯藏してゐた大豆は恐らく二百萬噸で、八千萬人を五ケ月養ふに十分であるといはれてゐる、なほ大豆の優れた點は値段の安いことで、上等の肉類五オンスが大豆一ポンドに相當するが[illegible]

新聞の一つであるフランク・フルター・ツァイトングが、ドイツ軍は他國に進擊中大豆粉で命をつなぐことができるといふ記事を掲げたこと、及びポーランド戰爭の終つた時大豆粉は大砲と同樣に重要であることが判つた等と揚言することから、推定されるといふのである。

滿洲の大豆は米國にも輸出され米國では工業塗料の原料としても重用されてゐたが、最近滿洲大豆の一層改良したものを自國で栽培するやうになつたといはれてゐる、わが國においては醬油、味噌、豆腐の原料として用ひられてゐるが、食糧問題解決の一助として更にこれを有効に利用する方法を考究してはどうかと思はれる

ソ聯科學の特性

實用化めざす破天荒な研究

或る町會長が隣組の集會の席上で、ロシヤはいつかは日露戰爭の復讐をしようと思つてゐるだらうといつた。ロシヤにさういふ意志の有る無しは別として、そのやうなことをいふ前に考ふべきことは現在のソ聯における旺盛な科學の研究である。ソ聯の內情は極祕になつてゐるが、僅かながら漏れた報告によつても、我が國の科學研究などは、足下にも及ばぬやうに思はれる。さういふことを知らしめずして、徒らに下らぬ敵愾心を民衆に起させる町會長の愚劣さには開いた口が塞がらぬが、もし國民の一般が、さういふ無知の闇に迷つてゐるとすれば、實にわが國の前途は戰慄すべきものがある。

ソ聯の某新聞の論說委員は「わが國は科學と文化の世界的中心となるであらう」と率直に大膽に述べてゐるが、この豫言は兎も角として、ソ聯が世界において最も科學を尊重する國家の一つであること、科學の研究が同國の國策の線にぴつたり合つてゐることは間違ひのないところである。そしてソ聯の科學者の考へが、ドイツや米國と著しく變つてゐることは、最も注目すべき點である。有名な同國の科學者ルイセンコは言つてゐる。

「科學は人間がその前に跪くやうな美しくて不可解なものではない、科學は人生に必要であり、實踐の爲に、また自然を改變する爲に必要なものである」

勿論ソ聯でも科學の進步には、科學の爲の科學の研究が必要であるといふ觀點は根底になつてゐるであらうが、同時にソ聯では破天荒ないろ〳〵の實用的目標に向つても研究が進められてゐる

モスコーにある學士院は、さういふ計畫の總本部であるが、そして行はれてゐる研究の二三を次に擧げて見よう。太陽の熱を利用することは古來の學者の懸案であるが、ソ聯の學士院には日光利用問題研究會があつて、各地の學者がその研究に熱中してゐる

昨年二月に開かれた總會で、ツルキスタンから來た代表者は、同地方で日光利用の炊事場や浴場が數ケ所できてゐて、浴場では日に五十人が入浴してゐることを報告してゐる。この程度の利用は別に珍とするに足らぬがサマルカンドに設けられた太陽光線研究所では、從來の方法と全く違ふ新しい發明が完成したといはれてゐる

科學の力によつて天候を左右することは、他國では夢物語りに屬するが、ソ聯では數年前から氣象の研究と同時に、その實現を企てゐる、例へば黑海沿岸のスフームでは人工的氣候實驗所なるものが設立され、バスタモフ博士が責任者の一人として、その地方の栽培植物のために寒氣を征服することに一步を進めてゐる、さうかと思ふとモスコーに本部を有する人工降雨研究所があつて各地の支部とともに活躍し、すでにレニングラート支部で、高壓電流、エックス線、電波等を用ひて氣流に變化を與へる研究が優秀なる科學者の集りによつて進められてゐる、この研究所では雹等の防止、霧の消滅等も研究題目となつてゐる、石油で名高いバクー地方には雷の研究所があつて、米國で行つてゐると同樣、回轉寫眞機を用ひて電光を研究してゐるが、こゝでも雷の電氣の利用に着目してゐるやうである

高層大氣の研究がソ聯で早くから行はれてゐることは、人知るところであつて、この事は數年前、氣球OAX號が世界最高記錄を作り、三名の搭乘者が墜落慘死したことでも想像されるが最近には成層圏飛行の研究も可なり進んでゐるらしい。本年四月の政府機關紙には一五〇〇〇メートルの上空に飛んで大氣の狀態を調査し、夜になつてから爆擊の實驗を行つたが、その高さからでも物の見事に目標に命中したと報じてゐる。かやうな研究は、差しづめわが國で防空[illegible]演習をやる時に眞面目に考慮しなければならぬことである。成層圏飛行においては發表されない宇宙線の研究も盛んに行はれてゐるのであつて、我が國などとは同日の談ではないのである

北氷洋の風の強いところでは、風力發電所が設けられて居り、潮流利用の發電所も同地方で本年中に起工されることになつてゐるといふ、數年の後には地熱を利用する研究が完成して、都市や工場に利用されるやうになるであらうと報ぜられてゐる

すべて、これらの實用的大規模な研究は、基礎的の純學理的研究にまつことは、いふまでもないがこれらに要する費用がいかに莫大であり、いかに多數の優秀な科學者が參與してゐるかは誰でも想像するに難くないであらう。わが國の上下も漸く科學の重要性に目醒め、今や新體制の下に新なる一步を踏み出さむとする時、右の事情は以て大に鑑とすべきである

(ソ聯研究家尾瀨敬止氏に據る)

耐水ナイロン

米國デュ・ポン會社における合成纖維ナイロンの改良進步は目まぐるしいほどであるが最近には、それに完全耐水性を帶ばせる方法が發明されたといはれる、即ちこの處理を受けたナイロンの布は、鵞鳥の羽根のやうに水を彈くからレーンコート、シャワー、カーテン、病院用の敷物等として、ナイロンの新しい用途が開かれたわけである

しかも、このナイロンの耐水性は永久的であつて、普通の洗濯によつても、ドライ・クリーニングによつても、また永年雨風にうたれても變化せず、また觸感が軟かいから、靴下などにも用ひることができるといはれてゐる

この處理法の要點は、ステアミトメチレン(またはステアキシメチレン)ピリディヌムの鹽化物に浸けることであるが、この化合物は脂肪、フオルマリン、アンモニア鹽酸、ピリヂンから造られるものである。浸染後、乾燥して、數分間、加熱するのであるといふ

家・兎・の・報・國

▽保溫力優秀な兎皮△

軍部で養兎を計畫したのは最初は、その肉を食糧として、一朝有事の場合に備へるためであつた。といふのは、我國の海產物は豐富であるが、戰爭となれば、遠洋漁業は駄目と覺悟しなければならず近海漁業も青壯年が應召すれば半減すると見なければならぬ。さうなると婦女子で簡易に飼へる小家畜から肉類を供給しなければならぬが、の家畜としては家兎が最も手頃であると考へられたのである

ところが、その後、航空機の發達に伴ひ、兎の毛皮も防寒用として大いに役に立つやうになり次で國際情勢の逼迫は、極寒地方における戰爭を豫想せしめるやうになり、更に滿洲國が獨立すると日滿議定書によつて、その北境をわが軍が守らなければならぬやうになり、兎の毛皮の需要は急激に增大して、軍部は盛んに、養兎を獎勵するやうになつたのである

極寒地では織物は防寒の用をなさず、どうしても毛皮が必要であるが、元來、我が國には毛皮の資源は極めて少く、手輕に增產を計り得るものとしては、家兎あるのみで、殊に家兎は短日月の間に大量を得らるるといふ利點がある。

兎の毛皮は軍用として極めて誂へ向きで、軍の行動の自由、體溫の調節、外傷の防護、品位の保持等の點からいつて、條件に適つてゐる。殊に兎の毛皮の保溫力は、他のいかなる毛皮にも勝つてゐるとは次の試驗の結果を見れば判る

種類	冷却に要する時間
兎	一三一五秒
海狸	一二九六
生絲	一二八四
羊毛	一一一八
綿	一〇四六
亞麻	一〇三三

これは物理學者のラムフオード氏が、攝氏八八度の物質を包んで一三度に降るまでの時間を檢べたものであるが、わが陸軍被服本廠で行つた實驗によつても、緬羊毛皮、狐毛皮に次で、保溫力が大きいことが示されてゐるのである。緬羊や狐には劣つてゐるが、輕くて運動に便なることを思へば、實用上最も優れたものといふことができる

防寒服は特に空氣に冒されやすい部分を保護するやうに作るべきものである。即ち前額耳、鼻頭、手指は凍傷にかからぬやうにし體軀では胸と下腿に保溫を充分にするのである、わが陸軍では、行動上差支へない部分には羊毛皮を、動作の輕快を要する部分には兎毛皮を用ひてゐるのであつて、例へば、帽子は兎毛皮、外套は背襟を羊毛皮、襟と袖口は兎毛皮を用ひてゐるが近年は輸入品なる羊毛皮を成るべく用ひないやうにしてゐるので兎毛皮は一層需要が增したのである、尤も贋綿を利用することも始めたといふ

使用する時には、勿論鞣すのであつて、市販品は殆ど明礬鞣しを行ふが、陸軍では保存、耐熱、耐水、防虫等のためにクローム鞣しを行つてゐる

木炭ガス飛行機の實驗成功

【ローマ發】炭酸ガスに依る飛行機の第一回實驗がこの程ミラノ市郊外の飛行場で行はれ成功を收めた、八〇キログラムの炭酸ガス發生機(內四五キロは木炭の重さ)をブレダ式飛行機に裝置して試驗をしたのであるが發生機の作用は全く木炭バスの場合と同じでこの實驗の責任技師たるコルテリ氏は實驗終了後次きの如く語つた 實驗の結果は成功で滿足を感じてゐる、他日このガス發生機を別のブレダ機に裝置してミラノローマ間の試驗飛行を試みようと思つてゐる

豆知識

☆スイス……大きな鐘

或る國では教會の鐘が戰爭資材を造るのに溶かされましたが、スイスでは反對にその國が持つてる最大の鐘を鑄造しました、それらの鐘は六組から成り、最大なのは一萬五千封度であります

☆イギリス……野菜を作る老人達

シエフイールドの勝利のために掘る運動に八十歲以上の四十人が加はつてゐます、一萬五千の野菜畑があります、シエフイールドには何百といふ子供の區劃地もあります

☆イギリス……甜菜の取入れ

ロンドンの少女たちはリンコルンシアの甜菜の取入れの手傳ひをしてゐます、約一年間にわたりロンドンに供給するだけの砂糖が三つの工場で製造されるのです

ラヂオ JODK

二十二日(日) 第一放送

朝の部

午前六・五〇 ニュース

七・〇〇(東)時報

七・〇一(京)神社めぐり官幣大社平安神宮—京都市同神宮より中繼—(一)平安神宮奉仕(二)祭典平安神宮神官雅樂會(四)講演相武天皇と平安遷都京都帝大助教授中村直勝(講演)(錄音)孝明天皇と明治維新僞宮猪一郎(鼓樂)行進曲平安神宮講社山國隊(七)講演時代祭りの話同神宮宮司寺田密次郎

七・二五(東)季節の話園寒肥の作り方と施し方 高橋常治

七・五〇(城)宮城遙拜・天氣見込

七・五一(東)ラヂオ體操

九・二〇(城)氣象通報

九・三〇(東)—皆さんの科學週間—(第七日)コトモ座談會「科學の進步」小川太一郎 甲賀三郎東京高等師範學校附屬小學校兒童(指導)橋本爲次

一〇・〇〇(東)週間を顧みて(錄音)

一〇・四〇(新)鮭漁作業實況—新潟縣三面川鮭產育養所漁場より中繼—

一一・〇〇(廣)鐵道關門トンネル中間報告—鐵道關門トンネル內より中繼—

一一・五〇(大)海外市況

晝の部

正午(東)時報、默禱、今日のお知らせ

午後〇・〇五(大)吹奏樂(一)序曲ローマの謝肉祭(二)イスパニヤ舞曲(三)行進曲「佛蘭西軍隊」大阪吹奏樂團(指揮)福喜多鎭雄

〇・三〇 ニュース

一・〇〇(東)北米西部同海外放送—音樂(一)歌劇「魔笛」序曲外二曲モーツァルト作曲中央交響樂團

一・三〇(城)獨唱と合唱史詩曲盤國京(第一公立高等女學校生徒、ピアノ陶山園子、オルガン池田勝頭、ヴァリオン金年麗指揮大場勇之助

二・〇五(新日本音樂)(一)鎭進(第一箏)鈴木民子(第二箏)伊地藤枝(尺八)伊藤紋山(二)川瀨の宿(箏)鈴木民子(同)伊知藤枝(尺八)伊藤紋山(三)櫻の調(箏)鈴木民子(尺八)伊藤紋山

二・二五(城)詩吟(一)和歌(國のため)乃木希典作(二)九月十三日夜陣中作上杉謙信作(三)寄家兒言志廣瀨武夫作(四)舩山營中作)大久保利通作(五)大楠公河野天鋼作渡邊武親

二・三五(城)マンドリン合奏(一)組曲「スペイン印象」より(二)兵隊のメヌエット(三)「樂しき集ひ」第一樂章(四)ローラ 京城マンドリン合奏團(指揮)清水五彥

三・一五(城)歌謠曲(一)村の少女(二)雲雀の故郷(三)白百合平野聰子(伴奏)京城放送管絃樂團

三・五五(城)物語「防風林」

四・〇〇 ニュース、氣象通報(釜山・淸津)

夜の部

六・〇〇(大)—皆さんの科學週間—(第七日)(一)磁氣機雷の話(二)水中短音波通信の話(三)輸血と血液保存の話(四)

光學ガラス工業の話(五)氣象書光螢光燈の話村上鋭夫

六・二五(東)日本文化講座(三十一)日本文化の傳統と發展 文學博士 [illegible]

七・〇〇 ニュース・天氣見込

七・二〇(東)週間の動き 大政翼賛會政策局內政部長 船田中

紀元二千六百年特輯番組(第三夜)

八・〇〇(東)「大政翼賛の夕」ラヂオ風景「大政翼賛」宮城遙拜、松原操、[illegible]、浪化シカク、浪化マンル外大勢

九・四〇(東)時報・ニュース・鄉土便り(城)氣象通報、ラヂオメモ・明日の曆

第二放送

午前九・四〇 修養講話 金山 泰治

午後〇・〇五 ハワイアンギター

午後〇・〇五(東)(一)歡びの朝(二)夜想曲(三)輿の躍進(箏)久本玄

獨奏

一・〇〇 名曲鑑賞(レコード) 西原 一雄

六・〇〇(大)科學ニュース

明日のきゝもの 廿三日(月)

[illegible]

本紙獨占全高段者總動員 東西對抗大棋戰

加藤六段一局勝二局目

第六回(圖は前局三三桂迄)

平手先 六段 △平野信助

六段 ▲加藤治郎

▲六八銀 13 △三三玉
△六三金 ▲四五步 2
▲六八角 △七三桂 25
▲七七銀 1 △八四角 3
△同 步 ▲二五步
▲五九角 2 △同 步 2

(指手八十二手 持時間各九時間)

消費時間 計(△平野氏 五時間〇分 ▲加藤氏 二時間十一分)

愈々戰鬪開始

觀戰記 八段 萩原淳

先手の六八銀は、自陣は俄かに攻められる心配がないので、ゆつくりと充分に堅めてから、右翼の攻擊策を考へようとの意味である一本調子に三七桂と跳ねても、三二玉と形を整へられゝば、敵陣は相當に堅いので、簡單には攻め落せさうもない。で六七銀の機樣がへは、この際に於ける適切な處置と思はれる。先手は兎に角三三玉と落ちつけば、後手も七七銀と上つて堅固な矢倉囲ひとした。これで大體の駒組は完了し、以後は愈よ互に決戰への用意となる。即ち平野氏が八四角と飛び出して六五步からの左翼戰擊を狙ひに出れば、加藤氏も五九角と引いて手薄の二筋を狙ふ策に出た。次に六八角の意味である。かうなると、前回にかての二六角出は、ますく疑問の手であると思はれた。角が出て、又引けば、明らかに二手の遲れとなり、これで平野氏が序盤に六四銀から五三銀と引いた二手損が解消して了ふやうな結果となつたのである。

後手の六三金は、早く七三桂と跳ねて、六筋からの仕掛けを有効にしたいところであるが、直ちに七三桂では、敵に七五步と突かれ、六三金、七六銀と逆に位を張られる順を懸念したのであらう。之で七三桂から六五と步突かれる順となつては、事態容易ならずとみて加藤氏は敵に一步先んじて、四五步と仕掛けた。遂に激戰の幕は切つて落されたのである。平野氏は同步と拂つた。此處で同步と應ぜず、七三桂では四四步、同銀右、四五步、五三銀、六八角と指され、次の三五步が非常にきびしい味となるう。加藤氏は敵の同步を見るや、隙さず二五步と打ち、再び同步の時は、六八角と二三兩筋に狙ひをつけた。平野氏は今度二四步も、又は三五步と攻められる手も避けられないので强氣に七三桂と攻勢手段を採つた。

(本日指了盤面) 持駒 ▲加藤氏 步

木村名人講評

先手六八銀から七七銀と櫓組の堅陣に强化し、さらに五九角として四五步以下の攻擊に出たのは、嚴しき六八角の見透しを作つて、此際に處する有力な手段であつた。

後手八四角、七三桂は、六筋攻擊の作戰で、左翼に適當な防禦策のない現在(四四銀右は二四步、二三金、三七桂で悪い)棋勢を決戰の攻合ひに導かんとしたのも流石で、他の如何なる手段も此場合では不利である。

本社特選 花形十八棋大碁戰

中川四段二局勝三局目

互先 四段 小泉重郎

先番 四段 中川新 四目半出込

第十回 持時間各八時間 一分以內切捨

消費時間(白 六・四一分)(黑 四・四一分)

● 一六三ぬ十一 31分
○ 一六四を 九 6
● 一六五ち十六 7
○ 一六六ち十五 3
● 一六七り十五 24
○ 一六八と十五 8
● 一六九ぬ十六 1
○ 一七〇ち十三 2
● 一七一ち十二 2
○ 一七二り十二 2
● 一七三り十一 1
○ 一七四り十三 1
● 一七五ち 十
○ 一七六へ 十
● 一七七を 八
○ 一七八わ 八 6
● 一八三る 六 8
○ 一八八そ十一
● 一九三り十四
○ 一〇六六い十一 ツグ

[illegible]

稀有の大振替り

評解 七段 橋本宇太郎

(解說)黑百六五で「ぬノ十七」にヒクが如き緩慢な手段では、白百六五とヒカれて、形勢は忽ち不明となつて了ふ。黑も儀勢を維持せんとするからには、百六五と强硬に抵抗して行かねばならない。假に黑百六五で「ぬの十七」にヒイてゐても勝てるやうな碁では、全然問題にならない。

×

白百六六のハネ返しは、百六二からの豫定の行動であり、又茲は斷ち打つ一手でもある。といふのは白百六六で百六七にノビるのでは、黑百六六、白百九三、黑百七一と打たれて、白の侵入軍は全滅して了ふからである。

×

白百六八で百六九にノビる手が在れば旨いが、黑「とノ十六」とヒカれて成算がない。で白は百六十八と引いて黑百六十九のポン拔きを許し、百七十と「トン」で右邊の黑を取りに行く方針を採つた。これに對して黑が右邊の一群を敢て活きようとせず、一黑百七三で「とノ十三」に打ち白「とノ十四」の時、黑百七四にキレば容易に死なぬ石である。

百七五と利かして、いとも簡單に捨て去つたのは、次に百七十七へハネ出せば、左下隅から中央に連なる白の大石を完全に取れる事を讀切つたからである。事實黑から百七七とハネ出されては、この白の大石は如何に足掻くとも活きる事は絕望である。しかし黑は大石を取るが爲に、白百九二迄の如く上邊の一群をも放棄せねばならぬ事になり、茲に稀有の大振替りが演じられた。

◇白百八十とアテ、行つたのは百八二、百八四を利かして上邊の黑を取る前提手段なのである。黑としても左下の白を取らんとするには、上邊の犧牲も止むを得ない。黑若し百八五を以て「るノ五」に打ち、上邊の友軍を救出に行くと白「るノ七」(黑百九五、白「ぬノ九」黑「ぬノ十」白「ぬノ十二」と打たれて、中央の黑を取られるから)これは黑潰れて了ふ。さてこの大きな振替りの結果に就て、橋本七段の說明を聞かう。

(解說)白は右邊と上邊の黑を捕殺して數十目の得を收めたが、左下の大石を取られた莫大な損失を償ふとは出來ない。結局白百六二とツケて勝負に出た手は、遂に成功に終つた譯である。而して白は百六二と打つた當時に比して更に差を大きくし、こゝに黑の勝は決定的なものとなつた。

(評解)差が十目を出た現在黑は白の投了を待つのみとなつた。黑は最後の止を刺すかの如く百九七とホサヘた。處が白圖らんやこれが大變な手なのである。この次に打たれた白百九十八か絕妙の手で、それに依つて形勢は忽ち逆轉を許さなくなつて了つた。黑百九七で「わノ五」に打つて居れば問題は起らず黑必勝の局面である。白百九八の打着點は何處であらうか?

學藝

北島淺一氏畫

都市文化の再建【3】
―一つの覺書として―
根岸情治

こゝにおいて、我々は都市文化の危機を救ふべき過程を自ら發見するに過ぎない。

即ち、都市文化の危機を救ふべき唯一の道は、都市文化に一つの秩序と統制とを與へる以外に何物もない事になるのである。

而してそれは、とりもなほさず都市文化の再建ともなるべき譯である。

×

然らば、如何にして都市文化に秩序と統制とを與ふべきであるか――そこに都市文化再建の方法が要求される。

×

都市文化再建の方法論としてはいくつかの條項があげられるに過ぎない。

例へば、物質文化の一翼として交通機關の整備、住宅、商業、工場等の配置、上水下水の擴張、瓦斯の處置、電燈ガス等の設備等々、精神文化としては、藝術と娯樂との限界、風俗と生活との調整、傳統と創造との調和等々。枚擧にいとまがないのである。

×

然しながら、結局において、それら文化の姿は、都市生活者が、共存共榮の目的の前に、共通の目標を確保する以外に何があるであらうか

×

共通の目標を確保するといふことは、一つの目標を總ての者が選び取るといふことではない

×

一つの生活機構、一つの文化機構が總ての者に對し共通に潤ふといふことなのである

×

このことは結果において同一の性質を有するものとはなるのであるが、その行程において非常な相違がある

×

國家の大政策として、大政翼贊會や國民總力運動が、その目的を錦紹又は愛國班においた所以は何處にあるのか

これはいふ迄もなく、國家の戰位が國民個々の生活にあるからに外ならない。

×

その意味に於て、文化の發揚が國民個々の生活から出發する以上は、國家の大政策と、文化の再建との相當關係に、絶對的な密接面を發見せざるを得ないのである。

×

文化が、高度國防國家體制から、おきざりにされつゝある現狀を、私は誠に遺憾に思ふ。

お座なり式の掛聲だけで、文化の秩序と統制とが行はれる譯がない。

文化が生活の色取りと感じてゐる處に、重大なる錯誤がある。

文化とは、即ち國民生活なので

何故に、國民の生活を無視して、何が故の戰爭であり、何が故の高度國防國家體制であらうか。

文化が國民の生活と相等しいものであるならば、文化の再建こそ、高度國防國家體制の要素でもあり、國民總力運動の原動力ともなる筈である。

×

今、都市の文化は極度に混亂してゐる。

これを整理し、統一し、完備せざるに於ては、都市人の生活は從らに不安と懷疑と反抗とに彌つるばかりだ。

それは即ち一般國民の生活を不安にし、懷疑と反抗とに導くものでなくて何であらう。

×

都市文化の混亂を救へ。都市文化に共通的目標を與へよ――と幾度にも書いた事がある。とまれ、文化とは、これを如何に逼迫したところで戰爭以上でない、といふのが一般の觀念である。（完）

明滅燈
大衆の批評眼

多忙な體だから月に精々一、二回の映畫見物に過ぎないが、それだけに何時も私は映畫に娯樂性を求める結果になるのだともいへる。大膽不遜な言分かも知れないが少くも私にとっては映畫から藝術的な感激を享くするより、身も心も休まる健やかな慰めを與へてほしいと思ってゐる。かうした意味で『驛馬車』や『大平原』から汲み取れるあの壯快な娯樂性こそ一般大衆にとって大きな喜びだと思ふ。あゝした方面から日本映畫のせゝこましさを救ふ方策は見付からないものか。大衆は無智ではあるが同時に鋭い批評眼をも備へてゐることを忘れてはならない。（詩人　鄭芝溶）

讀者文藝と美談
『國民總力』で懸賞募集

國民總力朝鮮聯盟發行の機關誌『國民總力』は各地方聯盟、愛國班の必携の雜誌として新年より面目一新の飛躍を試みる事となったが、内容は簡潔な記事を揭げて具體的解説や實踐報告、各地聯盟の活動狀況等を採錄する計畫で、今回同聯盟宣傳部で左記により讀者文藝と總力美談を懸賞募集することになった

讀者文藝は詩（杉本長夫選）短歌一人一題十五行限り、短歌（百瀨千尋選）川柳（淸村離山選）で以上はいづれも官製はがきに一人三句限り、感激美談は必ず實際にあったことで特別の場合を除く外は地名、人名等實際のまゝ（ママ）、原稿紙の最初に應募者の住所氏名を明記し内容一篇の長さは五百字以内たること、讀者文藝、感激美談共に締切は每月二十日、原稿送附先は京城府南大倉町九、國民總力朝鮮聯盟宣傳部編輯研究のこと、尙ほ入選作は國民總力誌に掲載し三席までに薄謝贈呈といふことになってゐる

映畫ニュース

全映畫界でも　翼贊體制强化

大日本映畫協會では擧て新體制に即應すべく擴大强化を企圖し每水曜日に開催の定例常務理事會で着々協議を進めてゐたが、改組擴大の目的はあらゆる部門を包括する映畫界全般に亘るものだけに近日製作、配給、興行、現業、機械、海外關係等の各部代表者を招いて大評定を開き、これに關する具體的意見を求めて全映畫界が打って一丸とする中央機關たらしめ官民一體に業者相互聯絡の緊密化は勿論映畫文化の向上發達に萬全を期し延いては大政翼贊運動の一助ともなるべき理念を滲透させる事となった

明年の外畫　七十五本に

映畫法でさきに明年度の日本物劇映畫製作總數が松竹以下九社に百十四本に制限されたが、今度は外國映畫の明年度配給總本數が約四割減の七十五本程度に内務、文部兩省と情報局の間に意見の一致を見た、内務省では來週各外畫業者に通達するがこの配給量は數字的には本年に比べて大減少だが本年實際の外畫封切本數は五十一本といふ配給量の半數以下であったので、當局が輸入保護をした七十五本が完全に封切りされたならばファンは今年以上の外畫が見られる譯である

不連續線
案内狀

旅から歸ると手紙が澤山待ってゐた。中に、晩餐の案内狀が一通あった。

拜啓　時下愈々御淸穆の段奉大賀候　陳者、貴下と懇談致度々粗餐差上申度候間來る〇日〇〇日午後六時〇〇ホテルまで御來駕被下度待上候　敬具

一讀、何でもないかに見えるかも知れないが初めの書き出し「貴下と懇談旁々粗餐差上申度」は、隨分高飛車に出たものだと思ふ。

必ずしも候文を避けねばならぬとはいはぬが、こんなものには自ら筋があり、そこに禮儀といふものが働いてゐなければならぬ筈である。

率直にいへば、寧ろ無禮だとの感さへしたことを白狀する。

私は、出席しなかった。

新映畫評
知られざる人々
追眞性のある作品
文化映畫

藝術映畫社作品『知られざる人々』――この映畫は從前の文化映畫から前進しようとつとめ、リアリズムを極端に生かしたわれわれに知られざる處の下水課の人々が下水のマンホールの中に入って汚物の掃除をしたり、この汚水が淨水場に入って化學の作用により潔い水となって海に流れ出されるのであ

る、と紹介してゐる

作者はこの文化映畫の『狙ひ』について都會の生活者と下水設備とそれに從事する人々の三つの關係に重點を置き、働く人間の息吹を感じたいといってゐる

このことは全くこの正しい文化映畫を最もリアルにした方法であって、下水の設備を紹介すると同時にそこに働く人々を描いて異樣な効果を示してゐる

暗い横穴の中で、綱に引かれて動く桶を押へながら、その桶が何かにつかへて逆さまになりさうになると、押へてゐる人は、無中で地下のうす暗い臭氣の中で汗を出しながら懸命に桶を押へてゐるのである、カメラはその時チッと据ゑつけられたまゝ助けようともしないで見てゐるあたり、觀客に何かを訴へずにはおかないものがある、そしてこの映畫ではそれが同時錄音により生々しく再現されてゐる、横穴の中に響いてくる地上の騷音等は如何なるアナウンスにも增して現實的であり悲慘であり凄しく、然し作ら不健康でもある

然しこゝで考へねばならぬことは、かうした醜悪な現實を無理に撮ることはかなりゆき過ぎではなかっただらうか、陰に働く人々の働き方で終らせることはあれだけの描寫ではないだらうか、汚い作業場をかくまで平氣でみせてくれるのは、カメラ技術の成功かも知れないが、かへってそれが知られざる人々へのテーマの迫力の邪魔ともなってゐる、事實は如何に醜悪であったとしてもある程度溫かい美しいものを持たせてみたかった（京日文化映畫劇場上映中）

京日歌壇
吉井勇選
朝鮮風物・生活・事變雜詠

永登浦　月俣雨信

暇かにも寒うつのり來て部屋うちのうるさき蠅は絶えにけらしも
譬喩のち必ず出てみる庭坪に咲きの愛しき雞冠の花
飄々と蔓陸へて町に出て飄々とまた町よりかへる
夜の白む頃に目さめ床にして起きなづみをり寒き朝
ぬかるみを避けしかたへの捨石はあはれかしこし羅漢めける

むつがる子を抱きあやせばうつらつと眠りたりけり眠たかりしか
暇かにも鋭き臭ひ鼻を衝く鮮人部落を通りてゆけば
晩秋の雨のひと日は垂れ鎖る窓のけはひに心せつなし
しみじみにけり齒をみがきつつ朝の月のこれる空の朝映えをすひとすぢにわれにま向きてやげらふ友か言葉はおろそかならず風邪引きて風邪藥にと煥かせつつ

蜜柑の匂ひ親しかりけり
煙の上に焦げつつ蜜柑の鋭き匂ひ夜にけて唄げばかそかなるかも
白々と霧のなびかふ遠山の麓の村はいまだ目覺めず
朝ざめのそこら歩きに鮮人は長き煙管を手に持てるかも
晴れ渡れば明日の休みは旅に用む旅にて歌を詠まむとぞ思ふ
葉靜まる松山ゆけば消えぬがにいや消えぬがに虫の鳴き居り

朝鮮風物・生活・事變詠
（季節自由）▲每月廿日締切▲官製ハガキに一人一枚三首限り認め京城日報社學藝部『京日歌壇』あてのこと

山小屋
廣瀬三郎
【金剛山協會・建築家】

山は自然といはれる風景の中で海と對照的に存在するが、山はまた吾々を魅する點において海以上でありませう。

このことは山に一度でも登られた誰方でもが經驗されることでせう。それ程山といふものは、春夏秋冬を通して無形に吾々を樂ませてくれる美しき存在であります。

だが、こゝでこの自然なる山の中に、人間の登行慾によって出來上った山道と同時に、この弱い人間を守ってくれる『山小屋』は登山家にとっては山のオアシスであります。

それだけにまたこの人工的な施設にはいろいろな條件があり、それを一身に背負って起たなければならない運命にもあります。

『山小屋』の生命は勿論登山家を相手にし、危機を救ふべき目的等をもってゐますが、これだけでは『山小屋』としての建築藝術を完成さすことは出來ません。『山小屋』なるものは飽迄も山といふ大自然のなかに存すべき文化的施設であります。

吾々は大自然なる山に接し、打たれ、汚苦を忘れて歩を進める時でもが、この嬉しさを感じて…前方の眼下に、眼上にさゝやかな『小屋』を發見します。そして暮れてゐる、だが、これは酷に遠望の眼ち感傷的な美しさであります。吾々はだんだん『小屋』に疲れた體を近づける……。

最初の發見は心理的な喜びでありましたが、今ではもうさうではありません。クローズアップされた『山小屋』は吾々から知的な分析を受けます。ここに至って『山小屋』は『住宅』に變化するのであります。

この考へは重要であります。やがてこれは、登山家の行ふ山の生活を基とした戰略なる『山小屋』の――そして設計條件が發生する所以であります。

登山家は防に山をとりまく外敵（地形、地質、雪、雨、風、雷、雷獸等）と戰ふ術を心得てゐますが『山小屋』建築も、これと同樣に、これ等の外敵と爭はねばならないのです。惠まれない地理的條件の中にあって、その他の風景にマッチさせ、アトモスフェアを生かし、外敵を防ぎ、なほかつ總ての建築學的考察のもとに、登山家を滿足させる『山小屋』（住宅）とは如何なるものでありませうか……。ここにも又自然科學と藝術學との兩部門の交流によって『山小屋建築』なる愉しき問題が生れます。

私は昨年『山小屋』（茶店であったが）の設計を行ひました。それは世界の絶勝地金剛山に建つものであります。

設計に當っては、その關係方面の人達の優れたる理解により、仕事の上での私を自由な立場に置かれると同時に、種々なる支障のもとに設計を進めました。

そして、こゝにその出來上った喜びをのせる機會を持った事を喜ぶと共に、皆樣方の嚴正なる御批判を持ちつゝこの拙文を終ります（一九四〇、一二、一九夜）【寫眞＝金剛山の東側に建てた山小屋】

學藝たより
◇東寶社長辭退　東京寶塚劇場取締役社長吉岡重三郎氏はこのほど同社長を辭任し後任には前專務取締役秦豐吉氏、專務取締役に前取締役支配人那波光正氏が就任した

今晩のラヂオ
六時特種さんの科學講座（東）▲六時廿五分講演　鷲山重雄（城）▲七時卅分　緒方系平（城）大場勇之助　唄歌指導（城）▲七時四〇分紀元二千六百年記念特別番組（大）奧村義光▲九時浪花節（大）梅中軒鶯童

世直し公方【75】
小金井蘆洲【演】
香川芳彦【畫】

家主の野心

和吉も目を丸くしまして、
『それではその兄弟が……』
『ア、さうなんだよ。道理で私がさっき、庄兵衞の家の裏手を通ったらね、玄益と庄兵衞の兄弟でお酒をのみながら、巧く行ったな、あれなら破談になるのは必定だと玄益の聲がしてゐたよ』
『ヘエーッ、さうでしたか、ウーンどうも呆れた人たちだなア、小母さん、有がたうございました。ざうとも知らず、此處になっちゃア、あの娘さんがお可哀さうだし、うちの若旦那もお氣の毒だ。私はこれからお店へ歸って、この趣を屆へお話しいたしませう』
急いで本町へ引返しましたが、お壺婆アさんも和吉から、玄益が御典醫に化け、小西屋へ出かけて今日で申す大デマを、まことしやかに振りまいたことを聞いて、これを默ってゐよう譯はございません。恰度、戸外を通りかかったおきよを呼び入れ、
『ちよいと、呆れるぢやアありませんか、どうも驚だくくと思ったら、玄益の奴がこれくくですとさア。本當に何てえ惡黨共だらう。私アくやしくてなりませんよ』
と委細を話したから、
（さては庄兵衞の遺恨から、根もないことをいひふらし、私の縁談を妨げたのか、マア何といふ卑怯な人たちだらう）
と思ひますと、おきよは腸も煮え返るばかり、思はず下唇をかみしめましたが、
『小母さん。モウいいのですよ、いろいろ御心配をかけて濟みませんでしたが、いづれは、なるやうにしかならない浮世なのでせう。私でウ、思ひ切りましたわ』
淋しく笑って駈出すやうに、我家へ歸りましたおきよの心持、實に不びん千萬でございます。恰度父親武右衞門は、道場へでも行きましたか家に居りません。人目がないので、そこは女氣の、おきよは袂を顏へ押當てゝ泣き崩れて居りますところへ、表を通りかゝりましたのが、問題の庄兵衞といふいやらしい家主でございました。そっと門口から覗き込んだところで、留守番をしてゐるのはおきよ一人だ。これ幸ひと思ったから、ニヤニヤ笑ひながら入って來ましたが、
『おきよさんや、どうしなすった、むし齒でも痛いかえ、あんまり仕事をつめるからだよ、ちっと氣晴らしをする方がいゝ、アゝさうくゝ、氣晴らしといへば、面白い草双紙が來てゐるよ、晩にでも見においでなさいな、恰度母親は私一人だから、遠慮はちっとも要らないよ。きっと遊びにおいでなさい、え、いゝかえ、おきよさん、待ってゐるよ』
猫撫聲を出してゐるところへどうやら武右衞門が歸って來たらしいので、庄兵衞は慌てゝ出て行きました。おきよは無念と口惜しさに我を忘れ、庄兵衞に摑みかゝらうとしましたが、ちっとこちらへ來ましたのは、既に考へが纏りまして、急いで泣き聲を隱しておりましたが、父親を出迎へ、言葉すくなにいつもの通り、夕食の給仕をいたします。武右衞門も娘が可哀想で、まともに顏も見られません。不愉快の中に食事を終り、
『きよや、床をとっておくれ』
『オヤ、今晩はお出かけになりませんの』
『コア、どうも頭が重いし惡寒もいたす。風邪の氣味かとも思ふから、大事をとって休むといたさうよ』
いはれる儘に床を延べて父を寢かし、こゝに屹ッと思案をしたおきよが、悲壯な活劇に相成ります。